



安全マインド育成研究会



人活×人事・労務研究会



瀬田工業高校見学会



EXPO 2025

特集

今年も始動！ 学び+つながり+実践力が育つ 滋賀経済産業協会の研究会

瀬田工業高校交流会	P2
令和7年度 会員経営実態調査	P3-6
大阪・関西万博レポート「滋賀魅力体験ウィーク開催」	P6
新入会員紹介「株式会社滋賀レイクスターズ」	P7
パートナーシップ構築宣言のひな形改正	P7
近江の企業クローズアップ「博善社印刷株式会社」	P8
経済指標・事務局だより	P9



学び+つながり+実践力が育つ 滋賀経済産業協会の研究会がスタート!!



■ 全10研究会でスタート！ 多様な対象層に向けた研究会が開講

6月、令和7年度の各研究会が続々と開講しました。今年度は、全10研究会にわたり、若手社員から次世代リーダー、人事担当者まで、多様な層を対象にしたプログラムが展開されています。

■ 「知る・話す・やってみる」実践型プログラム

各研究会では、「知識の習得」だけにとどまらず、「グループ討議」や「実践演習」「他社との交流」などを通して、実務に活かせるスキルや視点を深める構成となっており、異業種間のつながりや視野の拡大にもつながっています。



■ 新テーマ&新たな取り組みで学びを後押し

今年度は新たに「人活×人事・労務」「安全マインド育成」「社会人が習得すべき必須スキルⅡ・Ⅲ」の3研究会が加わりました。また、参加者から好評だった昼食会の継続実施や、参加率8割以上の方への修了証発行といった取り組みも導入し、学習意欲と成果の可視化を後押ししています。

■ 定番人気《共創型リーダー育成》 《未来のチャレンジャー育成》も好調

昨年度に引き続き、《共創型リーダー育成研究会》は

多くの参加者を集めています。対話や関係構築力を重視した内容が評価され、職場の雰囲気づくりやチーム力向上に活かされているとの声が寄せられています。また、《未来のチャレンジャー育成研究会》も、今年は参加者が大幅に増加。若手リーダー層の育成への関心の高まりを感じさせるスタートとなりました。

■ 現場で学ぶ！ 《現場見学研究会》の注目度

なかでも注目を集めているのが《現場見学研究会》です。「現場にこそ答えがある」をコンセプトに、県内外の先進企業を訪問し、ものづくりの最前線に触れるプログラムです。今年度は扶桑工業㈱様、山科精器㈱様、㈱デンソー様の見学が予定されており、最先端の自動化技術や次世代の働き方に触れる貴重な機会となります。



■ 異業種交流がもたらす“気づき”と“共感”

訪問先企業での学びに加えて、研究会内でのグループワークも大きな魅力です。ある参加者は「異業種の方と話す中で、自社と共通する悩みを共有できたことが安心につながり、さらに思いもよらない解決のヒントを得られた」視点の違いから生まれる気づきの価値を実感されています。こうした“場づくり”こそ、滋賀経産協の研究会ならではの魅力です。



■ 若手向け《社会人が習得すべき 必須スキル》シリーズも継続

若手社員を対象とした《社会人が習得すべき必須スキル》シリーズも人気を集めています。「Ⅰ」ではビジネスマナーや基本動作、「Ⅱ」では協働力やリーダーシップ、「Ⅲ」では“柔軟性と創造力”をテーマに、変化を乗り越える力を育成。変化の激しい今、まさに必要とされる力です。



■ 途中参加もOK！ 今からでも間に合います

現在、すでに開講している研究会もございますが、多くのプログラムでは途中からのご参加が可能です。

また、これから開講予定のプログラムもございます。

研究会の詳細やお申し込みについては、以下のURLからご確認いただけます。ぜひこの機会にご覧ください。

<https://forms.gle/E9EXRNSJKAZP2wgr5>



■ 採用活動にも活用を！

人事・採用ご担当者の皆さま、当会の研修会は「入社後も他社と交流しながら学べる環境がある」と学生に伝える材料としても活用いただけます。教育への取り組みを説明会などでアピールすることで、企業の魅力を一層高めることができます。採用広報のひとつとして、ぜひご活用ください。



瀬田工業高校交流会

労働政策委員会・経営委員会主管

6月30日、瀬田工業高校との交流会を開催し、総勢32社41名が参加されました。

横尾浩校長の開会挨拶の後、瀬田工業高校の学校紹介、進路・就職の状況について説明いただきました。その後は3グループに分かれて、機械科・電気科・化学工業科の3つの科の見学会を実施しました。生徒の学習内容や先生方の指導方針に加え、5軸加工機や3Dプリンタ等の最新鋭の導入設備も紹介いただき、卒業後に実践で活躍できるような指導内容となっています。

最後に、進路指導ご担当の横江先生から就職に関する情報提供・意見交換会を実施。生徒たちの進路指導を担当する先生からのリアルな情報は、非常に参考になったと大変好評でした。

その他、“先生方の熱心な指導の姿勢に感銘を受けました。”、“生徒の皆様を選んでいただける魅力ある企業を目指していきます！”といった意見も見受けられ、大変有意義な交流会となりました。



令和7年度 会員経営実態調査

当会では毎年会員企業を対象に「経営実態調査」を実施し、その結果を各委員会活動に反映するとともに、行政機関とも情報共有を行っている。概要は以下の通りです。お忙しい中調査にご協力いただきました会員の皆様に、あらためて御礼申し上げます。

調査期間：令和7年5月25日～令和7年6月16日
 発送数：会員企業470社
 回収数：71社

① 令和6年度決算と現在の業況

図1 「令和6年度の決算」は前年度と比較して

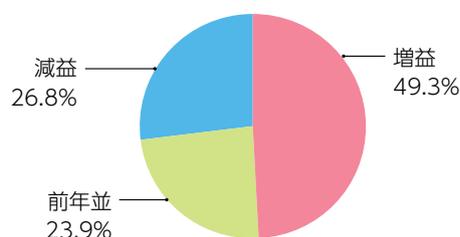


図2 「令和6年度の決算」は前年度と比較して
(資本金1億円未満)

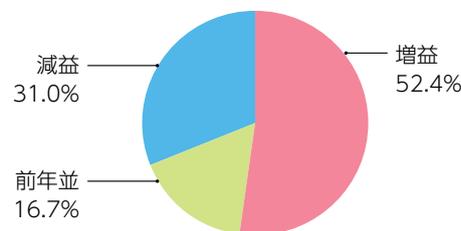
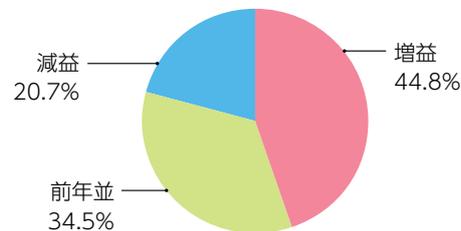


図3 「令和6年度の決算」は前年度と比較して
(資本金1億円以上)



令和6年度の決算(図1)では、「増益」が49.3%(昨年度調査43.6%)、「減益」が26.8%(昨年度調査38.3%)となっており、前年と比較して業績は良化している企業が多くなっている。増益の理由としては受注増加や、価格転嫁の寄与が多く、減益の理由としては受注減少の他、設備投資に伴う償却負担が重荷になっているとの回答も見受けられた。資本金1億円を

境に分けた規模別に見ると(図2・図3)、資本金規模の大きな企業より、小さな企業の方が増益と減益を示す割合がともに高かった。

図4 現在の業況について

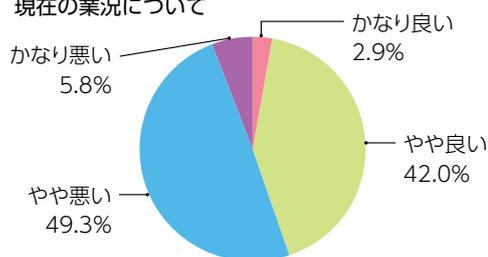


図5 「やや悪い」「かなり悪い」の場合の主な理由

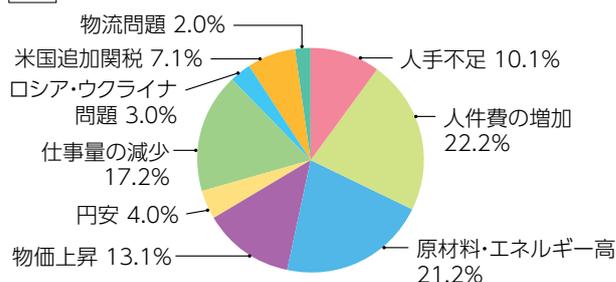


図6 現在の業況について
(資本金1億円未満)

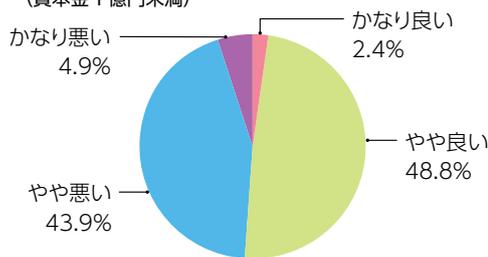
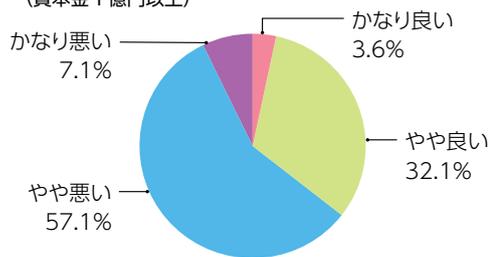


図7 現在の業況について
(資本金1億円以上)



現在の業況(図4)に関して、昨年度調査では良いと答える企業と、悪いと答える企業が拮抗していたが、今年度の調査では、かなり悪い・やや悪いと回答する

企業が増加している。「やや悪い」「かなり悪い」の理由としては、図5の通り、「人件費の増加」と「原材料・エネルギー高」がそれぞれ2割を超え、コスト増加が足枷となっている。今後もコスト上昇が見込まれ、今後の業績に与える影響を注視していく必要がある。規模別においては(図6・図7)、前年度決算と同様に、規模の小さい企業の方が、「かなり良い」「やや良い」と回答する企業が多くなっている。

図8 令和7年度の業績予想

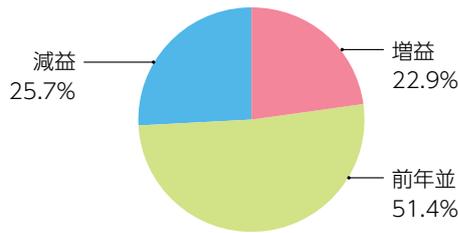


図9 令和7年度の業績予想
(資本金1億円未満)

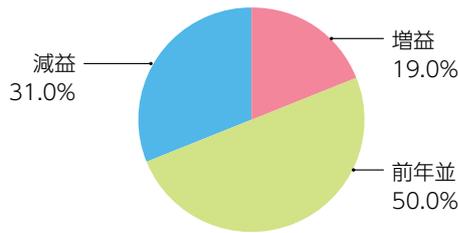
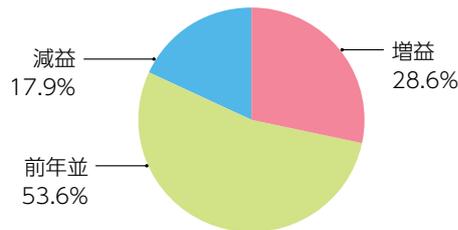


図10 令和7年度の業績予想
(資本金1億円以上)



令和6年度と比較した令和7年度の業績予想(図8)では、半数が「前年並」と予想しているが、人件費の増加や、原材料・エネルギー高が弱含みの原因となっている。

図11 人件費の上昇に対する価格転嫁の状況

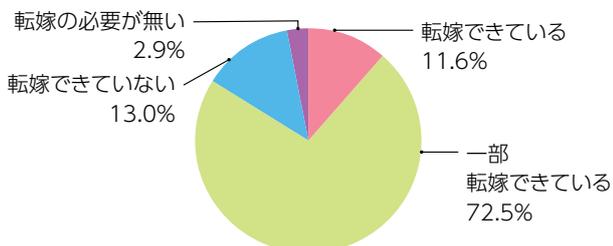


図12 人件費の上昇に対する価格転嫁の状況
(資本金1億円未満)

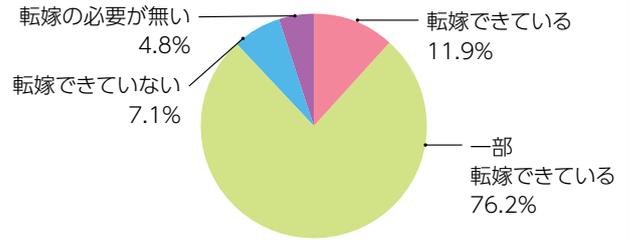


図13 人件費の上昇に対する価格転嫁の状況
(資本金1億円以上)

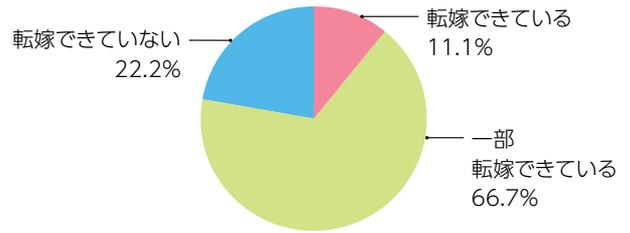


図14 原材料・エネルギー費等の高騰に対する価格転嫁の状況

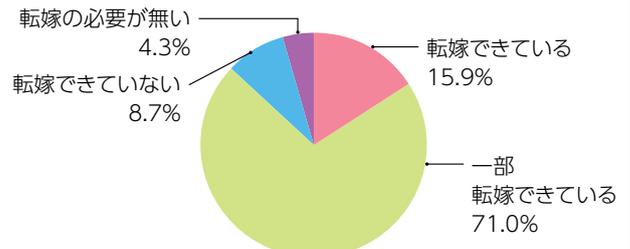


図15 原材料・エネルギー費等の高騰に対する価格転嫁の状況
(資本金1億円未満)

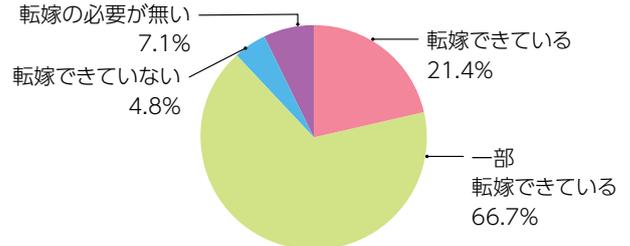
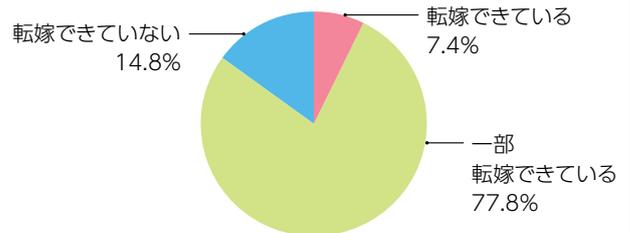
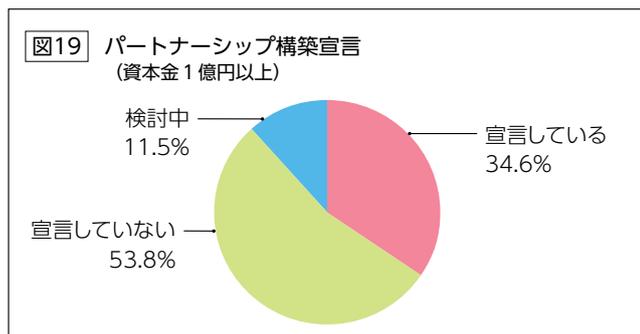
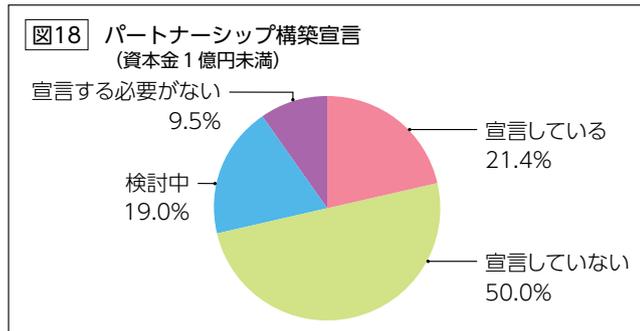
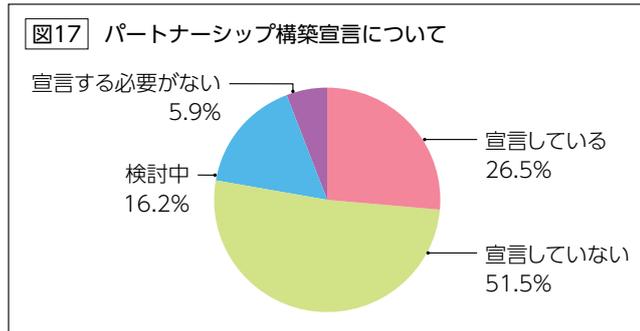


図16 原材料・エネルギー費等の高騰に対する価格転嫁の状況
(資本金1億円以上)

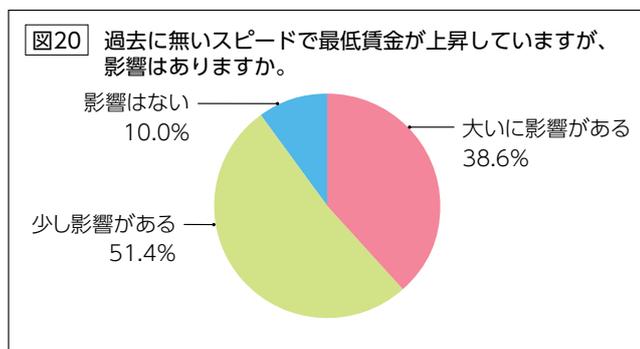


人件費の価格転嫁の状況(図11)と原材料・エネルギー費等の価格転嫁の状況(図14)では、「転嫁できている」「一部転嫁できている」と答える企業がそれぞれ

84.1%・86.9%となっており、昨年度調査から価格転嫁が進展しているが、価格転嫁が十分にできている企業はまだまだ少ない。

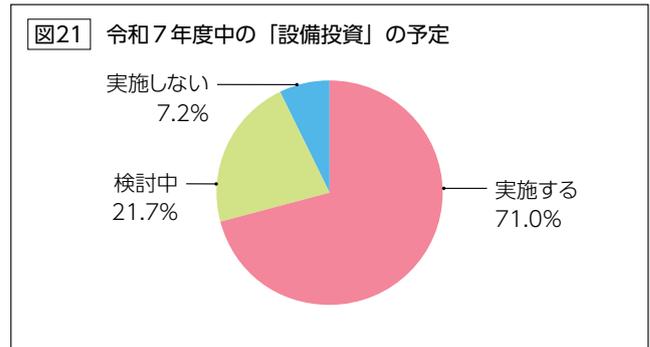


価格転嫁に関して、取引先との共存共栄への取組や、「取引条件のしわ寄せ」防止について、「パートナーシップ構築宣言」がある。宣言している企業は4分の1程度に留まっている。規模別では資本金1億円以上の企業の方が、宣言している企業が13.2ポイント多くなっている。(図18・図19)



過去に無いスピードで上昇している最低賃金の影響(図20)については、9割の企業が影響あると回答している。政府では2020年代に全国平均1,500円を目指しており、価格転嫁が進まず、このまま最低賃金が

上昇していくと、企業の収益力は大きく低下していく。



令和7年度中の設備投資(図21)については、7割の企業が実施予定としており、昨年度調査46.2%からは大きく増加しており、設備投資への機運は高まっている。

② 人材について

(表1)

	過剰		適正		不足	
	構成比 (%)	前年度調査 (%)	構成比 (%)	前年度調査 (%)	構成比 (%)	前年度調査 (%)
1. 事務・企画部門	2.9	4.4	81.2	77.8	15.9	17.8
2. 営業・販売部門	0.0	0.0	58.5	56.6	41.5	43.4
3. 研究開発部門	0.0	0.0	58.6	69.0	41.4	31.0
4. 生産部門 (技能者・熟練工)	0.0	1.2	40.3	34.6	59.7	64.2
5. 生産部門 (単純作業)	0.0	3.9	60.0	53.2	40.0	42.9

現在の人材の過不足状況(表1)については、昨年度の調査同様、生産部門(技能者・熟練工)で不足を回答した企業が約6割程度になっている。

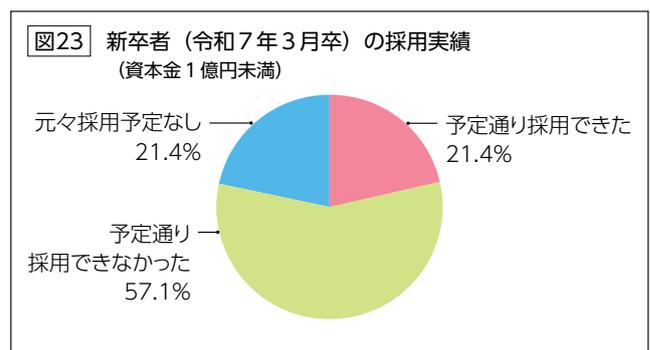
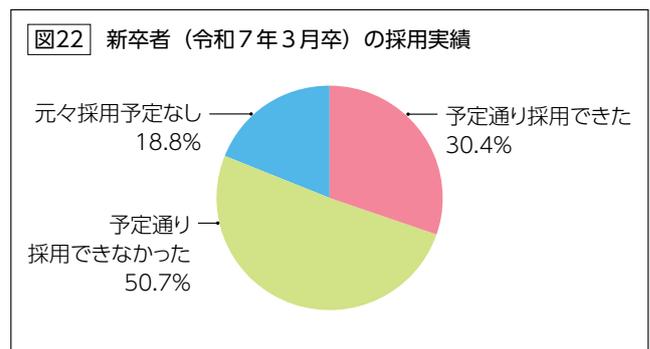
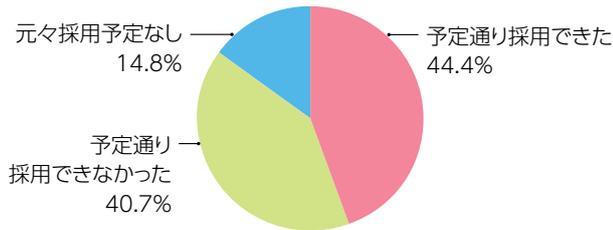


図24 新卒者（令和7年3月卒）の採用実績
（資本金1億円以上）



新卒者（令和7年3月卒）の採用について（図22）、半数の企業が「予定通り採用できなかった」と回答している。規模別に見ると（図23・図24）、特に小規模事業者での採用は大きな課題となっていることがわかる。採用活動で工夫していることとして、学校の進路指導課との関係強化や、初任給引上げ・年間休日を増加させることで新卒採用を強化している企業もある。また新卒採用が厳しくなるなか、中途採用に切り替えるなど、各社それぞれが人員確保に努めている。

③ その他

アメリカ追加関税の影響についての質問（図25）は、64.3%が「現時点ではわからない」と回答し、先行きが不透明な状況である。今後の対策としては（図

26）、顧客への価格転嫁が32.1%と一番多くなっているが、現時点では対策ができないと回答する企業も多い。取引先との情報交換や、自社内で関税コストを吸収していくなど、経営努力によりこの難局を乗り越えようとしている。協会としてもセミナー開催等を通じて、情報提供を実践していく方針である。

図25 追加関税の影響

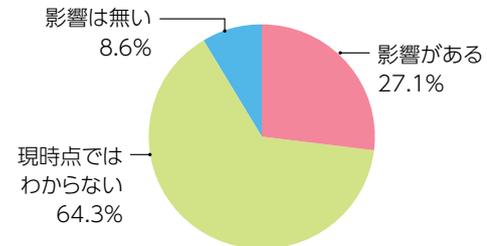
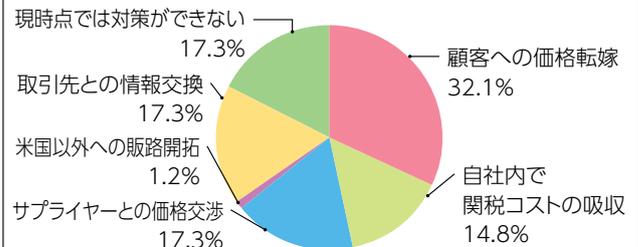


図26 「影響がある」・「現時点ではわからない」を選択された場合の、今後の対策



大阪・関西万博レポート

滋賀魅力体験ウィーク開催!! (テーマ：健康しが 開催期間：6月24日～29日(前期))

6月26日、関西パビリオン多目的エリアで開催された滋賀魅力体験ウィークに行ってきました。

びわ湖を中心に広がる滋賀の自然、文化、歴史、産業の魅力を展示やワークショップを通じて体験ができる。県内28事業者の県産品の展示、湖がつなぐ姉妹友好州省との交流、高島扇子に墨を使った筆書き体験、古民家・里山の暮らしの紹介など、各ブース多くの来場者で賑わっていた。後期は8月27日～9月1日にMother Lake Goals(MLGs)をテーマに開催されます。是非、足を運んでみてください。

【詳細】<https://expo2025-shiga.jp/health-shiga>

【後期の出展者】<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/342874.html>



詳細



後期の出展者



新入会員 ご紹介

株式会社滋賀レイクスターズ



代表者氏名
およびお役職

代表取締役社長
原 毅人

業 種

サービス業

資 本 金

10百万円

従業員数

37名

所在地

滋賀県大津市におの浜4-7-5
オプテックスにおの浜ビル3階

TEL

077-527-6419

FAX

077-527-1029

E-mail

info@lakestars.net

URL

<https://www.lakestars.net/>

「滋賀レイクス」は、滋賀県初のプロスポーツクラブとして誕生した歴史と誇りを持つバスケットボールチームであり、「株式会社滋賀レイクスターズ」はスポーツエンターテインメントを軸に、「今日より明日を素晴らしいものに」という想いを象徴する言葉「Lake up together」をコーポレートスローガンに掲げ、滋賀から、より豊かな未来を実現していく企業です。

なお、滋賀レイクスは現在、プロバスケットボールのB1リーグに所属し、2026-27年から始まる国内最高峰リーグとなる「Bプレミア」への参入が決定しています。



「パートナーシップ構築宣言」のひな形改正 ーサプライチェーン全体の付加価値向上に向けてー

サプライチェーン全体の付加価値向上と、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、発注者側の立場から、取引先との良好な関係構築を宣言する「パートナーシップ構築宣言」の制度が始まって5年が経過しました。パートナーシップ構築宣言は企業の自主的な取り組みであり、強制的な調査や罰則はありませんが、宣言を通じて取引先との信頼関係を強化し、ともに持続的な成長をめざすものです。まさに「三方よし」の精神です。

滋賀県では640社、全国では72,000社を超える企業が宣言しており、社会に浸透してきています。

この度、この「宣言」のひな形が改正されました。今回の改正は、重層的なサプライチェーンにおいて価格転嫁等の取引適正化が進むよう、任意記載事項の記載例が追加されたものです。背景には、原材料価格の高騰

や人手不足など、中小企業を取り巻く経営環境が更に厳しくなっていることがあります。価格交渉や価格転嫁の促進、取引条件の適正化を通じて、サプライチェーン全体で持続的な成長を実現することの重要性が一層高まっています。今回は任意記載事項の記載例の改正であり、全ての企業において宣言の更新が必要となるわけではありませんが、重層的なサプライチェーンを構築している企業は宣言の見直し・更新が期待されます。

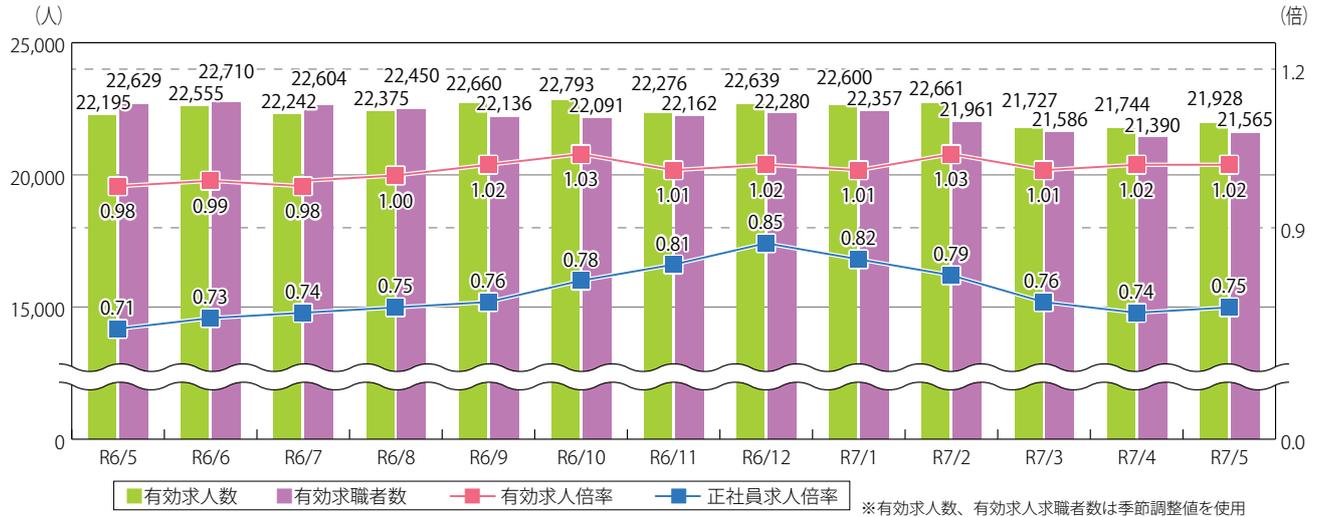
なお、宣言した企業は、ロゴマークを使用でき、企業のイメージアップや、補助金申請時の加点対象となるなどのメリットがあります。

詳しくは次のウェブサイトをご確認ください。

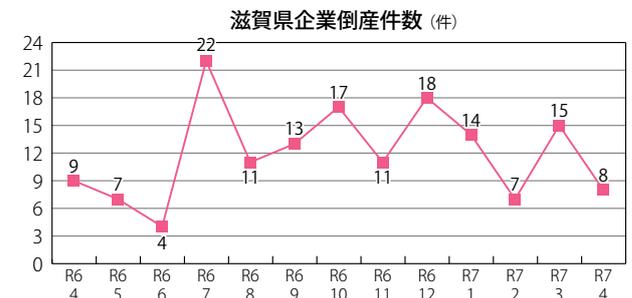
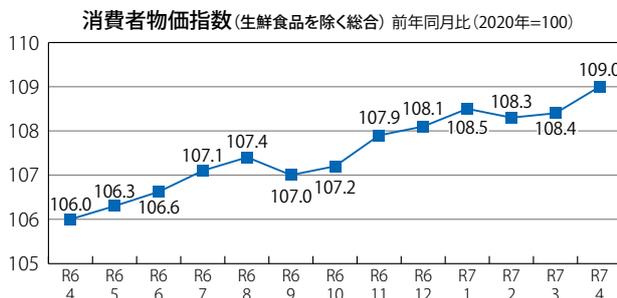
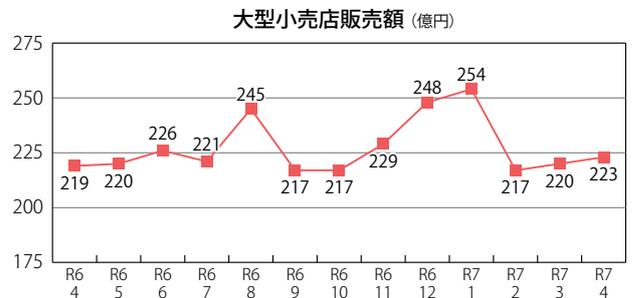
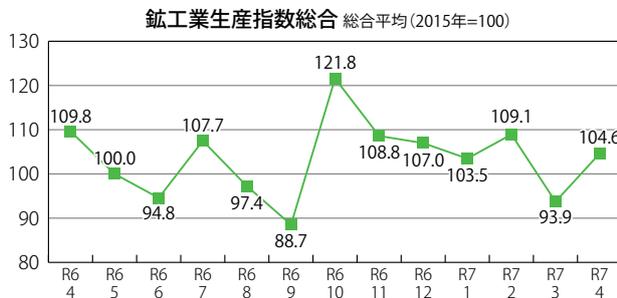
URL : <https://www.biz-partnership.jp/index.html>



◆◆求職・倍率状況◆◆



◆◆労働経済指標◆◆



◆◆◆労働実務相談室のご案内◆◆◆

相談内容は秘密厳守し、相談料は**無料**です。お気軽にご相談下さい。

- 相談日：毎月1回(原則第4水曜日(14:00~16:00) 祝日の場合は木曜日)
- 弁護士：アクシス法律事務所 置田 文夫 氏
- 会場：滋賀経済産業協会内 <コラボしが21 5階>

※相談予約は、必ず2日前に事務局までお申込下さい。(TEL: 077-526-3575)



事務局だより <8月の主な行事予定>

会議名	開催日	会議名	開催日
国スポ・障スポ実行委員会・総会	8月1日(金)	米国関税措置に関する講演会	8月7日(木)
労働政策委員会	8月5日(火)	夏季休暇とさせていただきます	8月13日(水) ~8月15日(金)
安全マインド育成研究会	8月6日(水)		人活×人事・労務研究会
滋賀県産業ひとづくり協議会	8月7日(木)	中小企業モノづくり部会	8月26日(火)
経営委員会			



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷